

令和3年度第2回緊急消防援助隊合同訓練

近年、日本各地で大規模な土砂災害が頻発していることから、土砂災害現場での連携強化と救助活動能力の向上を目的とし、令和3年11月26日（金）、緊急消防援助隊員33人が参加して、土砂災害対応訓練を実施しました。

消防長訓示



活動要領レクチャー



指揮隊運用訓練

指揮隊は、災害現場で指揮するための情報収集を行い、作戦の決定と活動命令を現場に下します。また、現場で活動する隊員の安全管理と二次災害の防止を図ります。



プロービング検索訓練



プロービングとは、プローブと呼ばれる棒等を土に刺し、その手ごたえで埋没者を検索する方法です。

土留め板設定訓練



土留め板設定とは、コンパネ2枚を横にして要救助者の上部に設定し、採掘した際にかかる土圧の保持や採掘部に周囲から流入する土砂を留める方法です。

トレンチレスキュー訓練

トレンチレスキューとは溝状の地形で活動する際、周囲が崩れないよう処置を行い、二次災害を防止しながら救助活動を行うことです。



要救助者救出



土砂災害現場では、二次災害の危険性があり、非常に困難な活動を強いられるため、土砂災害に対する知識を深めるとともに、各種救出方法の手技を全隊員が共通の認識を持って、安全・確実・迅速な救助活動が展開できるよう、今後も訓練を継続し、地域住民の期待に応えられるよう努力してまいります。

今回の訓練に関しまして、訓練場所の提供、大型重機の使用等ご協力いただきました株式会社白坂建設様には、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

